

子どもの貧困撃退！チャリティー

サンタ
募集
&
ボランティア募集

サンタ de ラン

SANTA RUN

今年のクリスマスは、子どもたちのためにちょっといいことしよう。



2016年12月24日(土) 11:00～15:00

受付：10:30～ 場所：宇都宮城址公園

無料
学習支援

このイベントについて

子どもの6人に一人が相対的貧困にあります。すべての子どもたちが元気にのびのびと育つことができるよう、子どもたちを支える団体を応援するためのチャリティーイベントです。

子どもの貧困撃退のため、友達や仲間から寄付を集めてサンタクローズになって走ろう！

イベント目標

参加者数：150サンタ

寄付総額：4,000,000円

子ども
食堂

フード
バンク

母子家庭
支援

参加するには

参加するには、一定額以上の寄付を集めて応募します。参加費(寄付額)は、以下！

大人サンタ(個人・大学生以上).....20,000円以上(うち、10,000円以上はなるべく周りの人から寄付を集める)

子どもサンタ(高校生以下).....1,000円以上

会社でサンタ(3～5人1組).....70,000円以上(うち、40,000円以上はなるべく周りの人から寄付を集める)

コース紹介

8NPO合同で実施>詳細>

<http://santa-tochigi.jimdo.com>

1 km

城址公園 → オリオン通りetcでイベントのPRをしながら歩く → 城址公園

3 km

城址公園 → 宇都宮大学 → バスで城址公園に戻る

6 km

城址公園 → ベルモール → 宇都宮大学 → バスで城址公園に戻る

12 km

城址公園 → ベルモール → 宇都宮大学 → 城址公園



子どもの貧困状態

子どもの貧困、先進国の下から4番目。母子家庭の貧困は下から2番目、という危機。

日本の子どもの貧困率は14.3%。先進国OECD加盟34か国の中で、下から4番目に悪い数値です(2000年調査)。約7人に1人が貧困状態にあり、先進諸国の平均(12.1%)を上回っています。そして、ひとり親世帯の子どもの貧困率は57.3%でトルコに次いで下から2番目に悪い数値になりました。日本は豊かな国と言われていますが、先進諸国の中でも貧富の格差がとても大きい国です。

国の社会保障が機能していない

税金や社会保険料などの国の制度を通して所得の高い人から低い人へお金を移動させることを「所得の再分配」と呼びます。日本もほとんどの先進諸国と同様に公的年金や公的医療制度を持っており、所得の再分配を行っています。が、再分配が子どもの貧困の解決に向かうのかと思いきや、不思議なことに、所得の再分配を行った後に子どもの貧困率が上昇しているというすごい事態(逆転現象)が起こっているのです。(要するにお金持ちから取らずに貧乏人から取っているということ)

貧困が足枷になり、将来に夢を描けない(子ども)若い世代

貧困は将来を思い描く力を奪います。経済的な理由で部活動や進学を諦めざるをえない、進学しても授業料が払えない、奨学金をもらっても社会人になってから返済に追われる、現在の仕事で十分な収入が得られないなど、貧困が足枷となって将来を見通せない若者が増えています。

自衛策をやるしかない

いま目の前にある貧困を解決できるのは、それに気がついた皆さんひとりひとりが少しの勇気を出して行動をおこすことです。その第一歩として、ぜひ「サンタ de ラン」にご参加いただき、一緒に子ども達を支えていきましょう。



グラフ出典:子ども応援便りWEB版
<http://kodomo-ouen.com/questionnaire/08.html>

皆様の参加、寄付が問題を克服する力に!!

ちから



皆様が集めていただいた寄付は、栃木県内の子ども支援団体、生活困窮支援団体の取り組みを通じて、子ども達の支援に活かされます。参加支援団体の概要、寄付活用方法については右のページをご覧ください。

サンタ de ラン 当日プログラム内容

- 10:30.....城址公園広場にて受付開始 サンタの衣装への着替え
- 11:00.....城址公園広場にてオープニングセレモニー
- 11:20.....全体パレード...オリオン通りへ
- 12:00.....各コース、順次スタート!
- 14:30.....城址公園広場に再集合し、クロージングイベント

サンタ de ラン 参加の流れ

- ①1人で参加するか、仲間と参加するかを決める
- ②コースを選ぶ(1km、3km、6km、12km)
- ③参加申込書(別紙または特設HP)に記入し送付
- ④周りの人たちに声をかけたり、イベントを企画して寄付を集める
- ⑤サンタクロースの衣装やイベントを盛り上げる仮装を準備
*準備が難しい場合、申込時に注文することもできます(別料金)
- ⑥当日たくさんのサンタと楽しく歩き、走ろう!

イベント公式サンタになるための必須アイテム



その他のアレンジは自由!!
ステキなサンタには、ベストドレッサー賞も!

参加団体一覧

認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク

フードバンク宇都宮、大田原、日光、那須烏山などの活動を通して生活困窮者の食品支援を行っています。特に学齢期にある低所得母子家庭への継続的な食品支援と困りごと相談に力をいれています。県北事務局ではこども食堂も行っています。

寄付の活用

- ①フードバンク活動を全県で広げ、こども食堂などの困窮家庭の支援を行う団体に食品を提供します。
- ②低所得の母子家庭等への「奨学米プロジェクト」で年間70件(840回)の家庭を応援します。

NPO法人サバイバルネット・ライフ

小山市こどもクラブ「シリウス」の運営を行っています。女性のための相談、カウンセリング、自助グループ、マイセルフの開催。女性と子どものための夏合宿も行っています。

寄付活用方法

夏合宿を実施する費用、女性や子どもの信頼回復をするために、寝食を共にする施設の借用費、多様な人材のボランティアによる支援に係る経費として活用いたします。

NPO法人だいじょうぶ

虐待や貧困、親の病気などで、家で安心して暮らせない子がいます。相談事業を核にそんな子どもと家庭に寄り添い、支援を行います。病院への送迎をしたり、お家の掃除を手伝ったりする訪問支援事業。母子の居場所「ひだまり」では、放課後子どもたちに夕食を出し、お風呂に入れ、服を洗濯するなどして「当たり前」の暮らしを提供しています。活動の中で、支援の必要な乳幼児が多いことが分かり、キッズルームを今年立ち上げました。

寄付活用方法

頂いたご寄付でキッズルームを運営します。家で安心して暮らせないことが、子どもを委縮させ、体験の機会を奪い、“普通”の育ちを奪っていきます。そんな中放置され、月齢のわりに笑顔や声が出ない赤ちゃんがいます。すぐに適切な大人の関わり(=刺激)で発育の遅れを取り戻してほしいです。

MAKANAこども食堂

毎週水曜日と金曜日にMAKANAこども食堂を開催しています。親子で楽しめるようなイベントを用意しながら、子どもたちが楽しく学び成長できる居場所づくり、また、大人もリラックスできたり興味あることを学べる居場所づくりをしています。

寄附活用方法

MAKANAこども食堂の継続活動資金に活用させていただきます。また、こども食堂の支援者が増えるように、こども食堂の作り方講座も企画しているので、その資金に活用させていただきます。

一般社団法人栃木県若年者支援機構 【昭和こども食堂】

若者の就労支援、学習支援などを行う団体です。今年度からは毎週月曜日に昭和こども食堂を運営しています。子どもたちが地域の中で育つ居場所の一つとして子どもから大人まで利用して頂いたり、ボランティアに来る若者の体験の場としても活用しています。

寄付活用方法

今後はこども食堂を入口に、自然、文化体験などの体験活動を子どもたちが出来るようにキャンプや日帰り自然体験プログラムの実施を予定しています。頂いた寄付を体験活動に伴うプログラム費として活用させていただきます。

NPO法人キッズシェルター

虐待の予防活動を含んだ子育て支援活動として、訪問型子育て支援(食事・洗濯・掃除・送迎・買物・引越など)やお昼ご飯付き子どもの居場所(こども食堂)およびにじのいえ(要支援児童放課後応援事業)の運営を行っています。

寄付活用方法

お昼ご飯付き子どもの居場所(こども食堂)及びにじのいえ(要支援児童放課後応援事業)の継続のために活用させていただきます。

とちぎYMCA

幼児から青年までの青少年の健全育成と、それを可能にする地域とボランティアな市民を育成する公益団体です。学校や職場や福祉サービス以外の居場所を障害児と家族に提供しています。また国際交流を通じて世界のこどもの貧困にも目を向ける活動をしています。現在、こども食堂を企画準備中です。

寄付活用方法

貧困や障害などの困難な状況にある子どもたちの体験格差について、多様なプログラムを展開します。野外活動(例:障害のある子どもたちの富士山キャンプ)、海外交流活動(家庭や経済状況に恵まれない青年のフィリピン・スタディーツアー)など多様な体験をボランティアとともに提供します。

NPO法人トチぎ環境未来基地

年間2,000人を超えるボランティアとともに、栃木県内の里山、竹林の整備を進めています。整備した里山の活用にも力をいれ、親子の自然体験や若者の自立支援、高齢者の健康づくりの場としても活用しています。また、子どもたちの自然体験やキャンプなども年間を通じて行っています。

寄付活用方法

県内の里山の整備を進め、子どもたちが虫をつかまえたり木に登ったり、楽しむのびのび遊べる里山を増やします。また、こども食堂や子ども支援NPOと連携し、子どもたちの自然体験活動や自然キャンプを年間を通じて行います。自然の中で、子どもたちの感性や体力を育みます。

サンタdeラン 参加方法

1 サンタになって参加する 150人募集!

多くの人に子どもの貧困問題について知ってもらう為に、サンタクローズの格好で宇都宮市内を走ります。基本的には競争ではなくより目立ってより多くの人に知ってもらうことが目的です。サンタクローズやトナカイなど、衣装をアレンジするなど大歓迎!参加の流れは2ページを参照ください。

2 ボランティアとして参加する 50人募集!

運営ボランティア

サンタクローズになる皆さんが安全に楽しく参加できるようサポートすることも、参加方法の一つです。イベントの準備、当日の運営のお手伝い、会場準備、交通誘導、イベントの補佐など様々な活動があります。ボランティアで協力できるという方は、まずご登録いただいて、事務局と相談しながらやりたいことと必要なことを調整しましょう。

企業・団体協賛ボランティア

イベントの雰囲気を作り、その一員になり子どもの貧困問題への関心を一緒に高めて下さる企業・団体の皆さまを募集しています。A.城址公園のメイン広場に出展 B会場飾りつけや必要備品の提供 C 広報協力

3 寄付で参加する(バーチャルサンタで参加)

当日は行けないけど、「子どものために何かしたい」と思われている方、当日の参加だけが支援ではありません。寄付で応援も参加方法の一つです。勉強会に参加して実際の支援現場について学び、支援したい団体にご寄付も頂けます。イベント全体にご寄付頂くことも可能です。一口3,000円、10口から。ご寄付頂いた方は特設ホームページでご紹介させていただきます。サンタの格好で写真を撮って送って下さい。

①クレジットカードで寄付 サンタdeランの特設ホームページから <http://santa-tochigi.jimdo.com/>

②口座へ振込で寄付

郵便振込 00110-8-281282 加入者名:とちぎコミュニティ基金

銀行振込 栃木銀行馬場町支店 普通 9918708 名義 (特非)とちぎボランティアネットワーク 理事 二見令子

③スタッフに直接手渡しで寄付 各団体のスタッフに直接手渡し頂いてもOKです!

同日開催イベント♡「親子で楽しむX'mas ども食堂」

場所.....宇都宮大学峰が丘講堂

時間.....12:30~14:00

内容.....◇手作りワークショップ (ミニクリスマスツリー、ミニサンタ、キャンドルを作ります)

◇クリスマスども食堂でおいしいあったかご飯をみんなで囲んで食べよう!

◇おもしろゲームコーナー

◇子どもの貧困についての講演会

* サンタdeランの参加者も、ご参加いただけます。

サンタdeラン お問い合わせ&お申込み

とちぎコミュニティ基金

子どもの貧困 サンタdeラン

TEL 028-622-0021

<http://santa-tochigi.jimdo.com>

FAX 028-623-6036 Email info@tochicomi.org

〒320-0027 栃木県宇都宮市埴田2-5-1 共生ビル3F 認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク内

